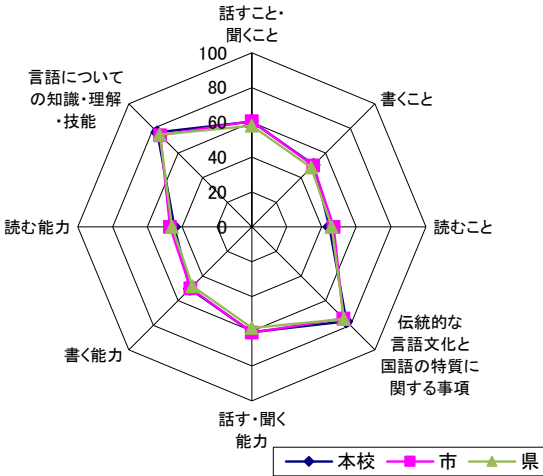


宇都宮市立富士見小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	60.5	60.8	58.1
	書くこと	50.3	49.8	48.3
	読むこと	44.6	47.0	45.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.8	74.4	74.8
観点	話す・聞く能力	60.5	60.8	58.1
	書く能力	50.3	49.8	48.3
	読む能力	44.6	47.0	45.9
	言語についての知識・理解・技能	76.8	74.4	74.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は60.5%であり、県の正答率を2.4ポイント上回った。 ○話し合いにおいて司会者の役割を理解し進行する問題の正答率は58.1%で、県の正答率より5.3ポイント上回っている。 ●話し合いの中で意見の共通点を考えて書く問題の正答率は46.0%で、県の正答率より1.0ポイント下回っている。	・話し合いの手順は理解しているので、国語の授業だけではなく、学級活動や児童会活動などの場でも活用できるようにする。その際には、個人やグループの意見の共通点や相違点を整理し、それぞれの考えを反映させながら一つの考えに集約できるよう指導していく。
書くこと	○本領域の平均正答率は50.3%であり、県の正答率を2.0ポイント上回った。 ○資料をもとに説明する問題の正答率は33.9%で、県の正答率より6.1ポイント上回っている。 ●インタビューの結果をもとに、必要な内容を整理して書く問題の正答率は37.1%で、県の正答率より4.0ポイント下回っている。	・分かったことや調べたことをまとめる際には、必要な内容を整理して書いたり、条件に合わせて文章を書き直したりするような場面を設定する。
読むこと	●本領域の平均正答率は44.6%であり、県の正答率を1.3ポイント下回った。 ○文章の要点や細かい点に注意しながら読み、整理する問題の正答率は50.0%で、県の正答率より6.1ポイント上回っている。 ●登場人物の描写から心情を想像して読む問題の正答率は39.5%で、県の正答率を13.4ポイント下回っている。	・読書活動を推進し、様々な分野の文章に触れる機会を作る。 ・物語文の読解では、叙述に即して文章を読んだり、登場人物の気持ちが分かる文や言葉に注目したりするなどの指導をていねいに行っていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○本領域の平均正答率は76.8%であり、県の正答率を2.0ポイント上回った。 ○漢字の書き「(試合に)かつ・りょくちや」の正答率は75%で、県の正答率より約15ポイント上回っている。 ●漢字の構成(部首)の問題の正答率は64.5%で、県の正答率より9.5ポイント下回っている。	・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる機会を意識的に設ける。 ・文や文章を書く際には、漢字の持つ意味を考えながら正しく使ったり、当該学年の前の学年までに学習した漢字を意識して使ったりするように指導する。